

# JFM

Japan Finance Organization  
for Municipalities



職員派遣の  
ご案内

2024



地方公共団体金融機構  
Japan Finance Organization for Municipalities

# 地方公共団体金融機構 (JFM) のご案内

## 理事長挨拶



地方公共団体金融機構  
理事長

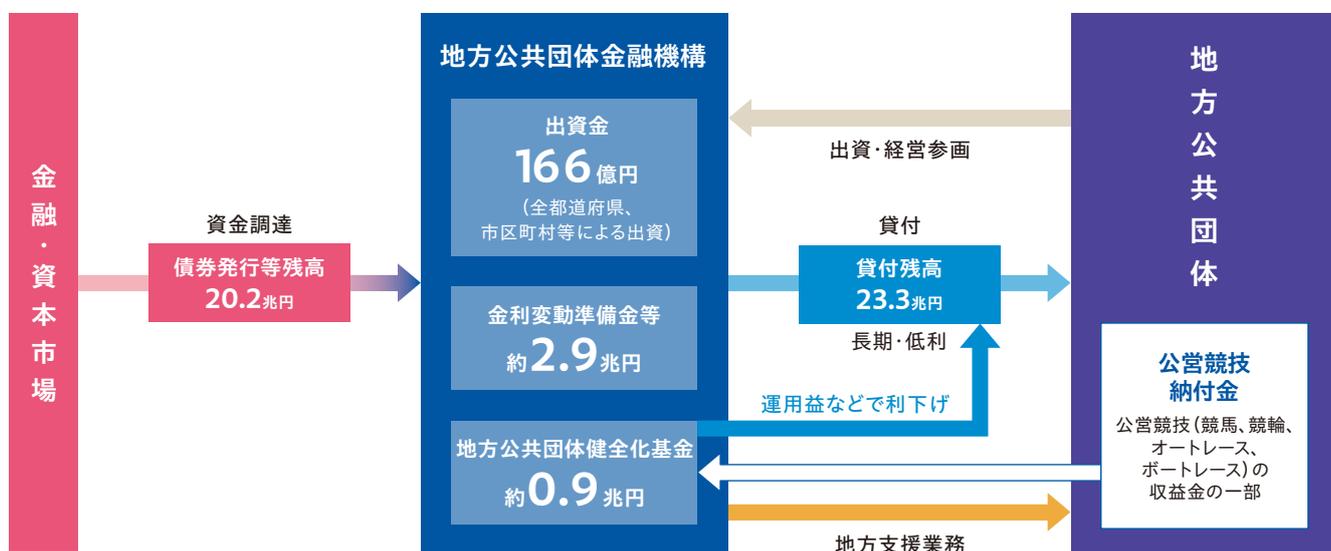
佐藤 文俊

地方公共団体金融機構では、全国の地方公共団体から派遣された多くの職員が活躍しています。こうした活躍を支えるため、金融や行財政に関する専門的な知識を学ぶ研修や教育の機会を豊富に提供しております。また、派遣期間中は、当機構において単身用・家族用宿舍を準備しており、安心して生活していただけます。

さらに、当機構には、全国からの派遣の方々に加え、総務省からの出向者、民間の金融機関のスペシャリストと、多彩な顔ぶれが集い、一生の財産となる「人」のネットワークを築くことができます。

このように、当機構への職員派遣は、地方公共団体の職員の皆様にとって貴重な経験を積み成長する良い機会となるものと考えておりますので、人材育成の一環として、当機構を御活用くださると幸いです。

## JFMの基本的な仕組み



(計数は令和4年度末)

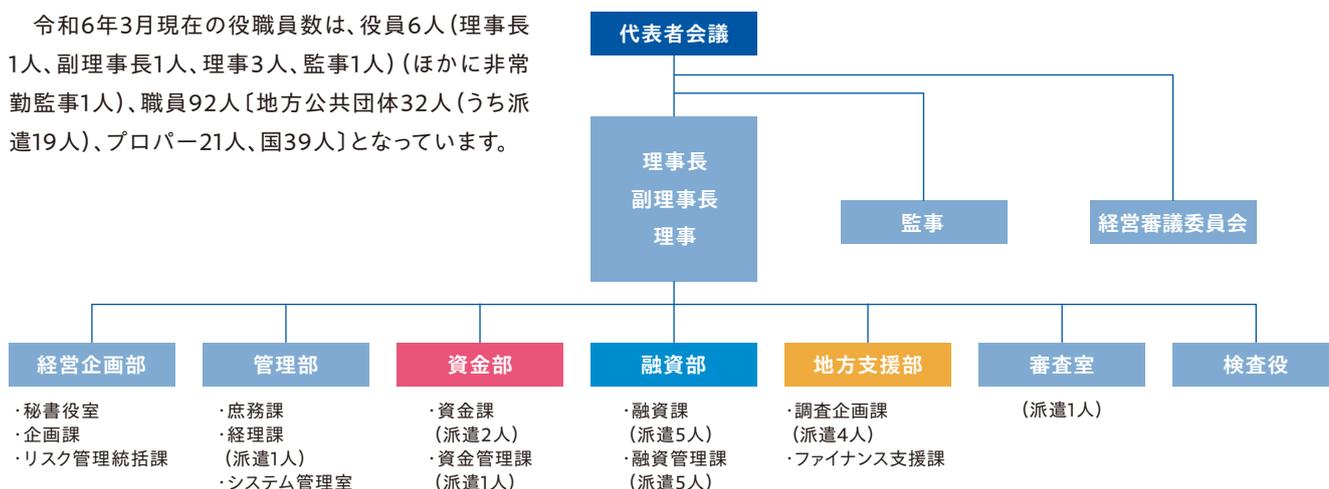
## 地方公共団体金融機構(JFM)とは

### 全ての地方公共団体の出資による地方債資金共同調達機関

地方公共団体に対して長期かつ低利の資金を融通し、地方公共団体の財政の健全な運営等に寄与します。  
また、地方公共団体が資本市場からの資金調達を効率的に行っていくために必要な支援を実施します。

### 組織図

令和6年3月現在の役職員数は、役員6人(理事長1人、副理事長1人、理事3人、監事1人)(ほかに非常勤監事1人)、職員92人[地方公共団体32人(うち派遣19人)、プロパー21人、国39人]となっています。



### JFMの主な業務

#### 資金調達業務

地方公共団体の資金調達機関として、地方公共団体に対し長期かつ低利の資金を調達するため、その原資となる資金について調達コストの低廉化を図りながら、安定的に調達を行います。



#### 貸付業務

地方公共団体による資本市場からの資金調達を効率的かつ効果的に補完するため、地方公共団体に対しその地方債について長期かつ低利の資金を融通し、これによって地方公共団体の財政の健全な運営及び住民の福祉の増進に寄与します。



#### 地方支援業務

地方公共団体が抱えるさまざまな財政課題について、質の高い調査研究を実施し、そこで得られた知見や先進事例等の成果を人材育成・実務支援、情報発信に活用することで地方公共団体の課題解決につなげるなど、「調査研究」、「人材育成・実務支援」及び「情報発信」の三本柱を有機的に連携させ、地方公共団体の財政の健全性の確保・向上に向けた総合的な地方支援業務を実施しています。



福岡県  
筑後市  
西田 正治 市長



## 機構での業務経験を活かして 市の未来を担う職員へと成長してほしい

### 子ども・子育て支援の拡充により 子育て世帯が増加

筑後市は筑後平野のほぼ中央に位置する田園都市で、古くから交通の要所として栄えてきました。特に九州新幹線・筑後船小屋駅は、約200ヘクタールの広大な筑後広域公園に囲まれた「公園の中の駅」であり、駅の近隣には九州で絶大な人気を誇る福岡ソフトバンクホークスのファーム本拠地「HAWKSベースボールパーク筑後」が存在します。また、温暖な気候と肥沃な土地、恵まれた水を利用して、古くから米・麦・イグサ・ナシ・ブドウ・八女茶をはじめとする農業も盛んに行われてきました。

近年では市を挙げて子ども・子育て支援事業に力を注いでおり、交通や暮らしの利便性と相まって子育て世帯の転入が増えています。多くの自治体で人口が減少するなか、筑後市は人口や世帯数が微増または横ばいで推移しています。

### さまざまな業務を経験することが 職員の成長へとつながる

今日の地方公共団体においては、限られた財源と資源を最大限に活用しながら政策を推し進める必要があります。その原動力となるのが、職員一人ひとりの存在だと考えています。特に市の未来

を担う若手職員の育成は重要です。彼らにさまざまな経験を積ませることで、職員の適性を見極め、能力向上を図る必要があります。私自身も筑後市役所の職員時代に、さまざまな困難な業務に必死に取り組む中で、一步一步成長してきたと実感しています。

こうした経験もあり、筑後市では基本的には採用から10年間で3カ所以上の職場を経験させるよう人事異動を行っています。しかし、市役所の業務経験では限界があるのも事実です。ここではできないような経験を通して、課題を発見する力、課題を解決するための能力、さらには前例にとらわれず、創意工夫できる力を養ってほしいという思いから、機構への職員派遣を決めました。

機構は各種研修制度が充実しており、職員自身のスキルアップが図れるほか、全国の地方公共団体が抱える課題やその解決方法にも触れられる場所ではないかと考えています。また、他団体の派遣職員のほか、総務省からの出向者や民間企業出身者なども多く在籍し、そうした方々と切磋琢磨し合える環境も魅力です。

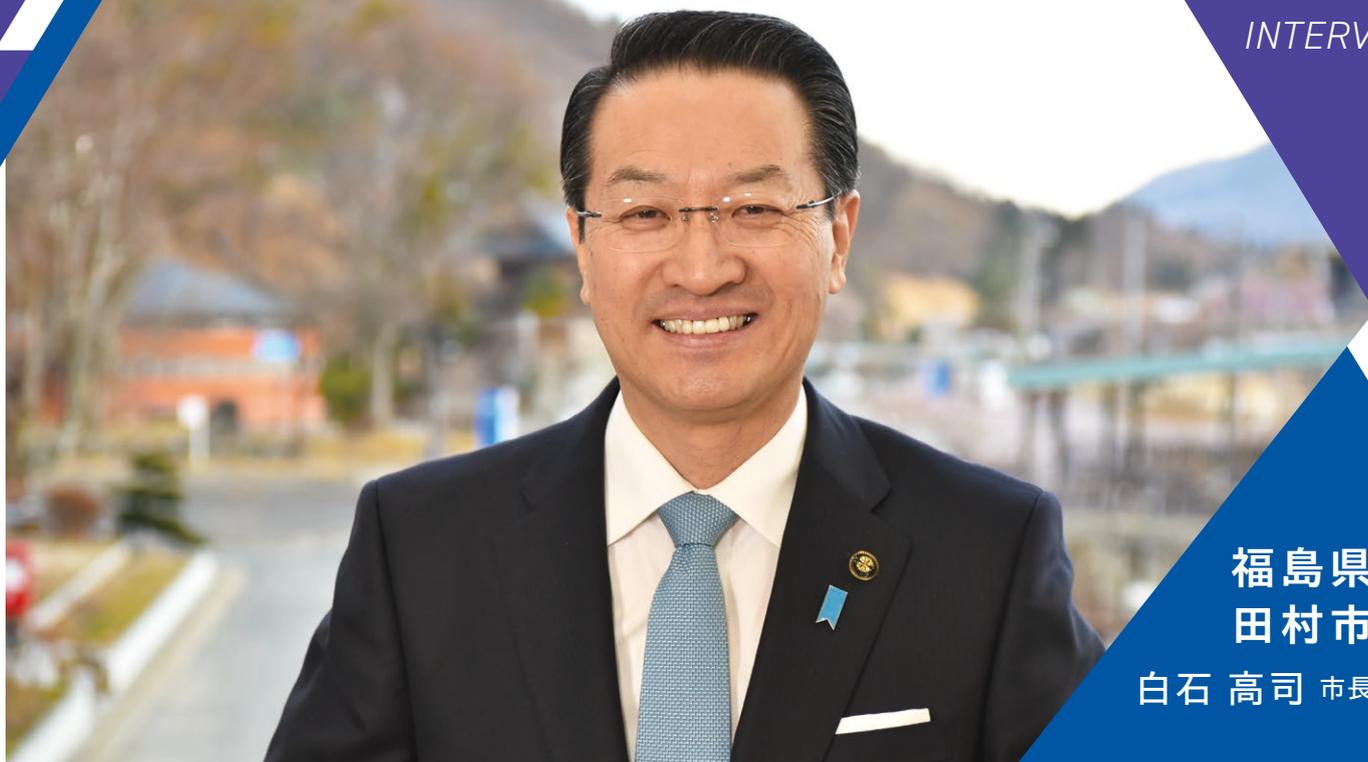
実際に機構の派遣を終えて帰任した職員が、私たちにはない視点から提案を行う姿も見られ、成長を垣間見ることができています。これからも機構での経験を活かして何事にも果敢にチャレンジし、周りの職員にもポジティブな影響を与える存在として活躍してくれることを願っています。

#### PICK UP! CHIKUGO CITY

#### HAWKSベースボールパーク筑後

2016年3月にオープンした福岡ソフトバンクホークスの2・3・4軍の本拠地で、2つの球場と屋内練習場、選手寮等を備えています。



福島県  
田村市  
白石 高司 市長

## 自らの判断で市の財政を動かせる 一歩先を行く職員への成長を期待

### 移住者の獲得に向け 市内と東京にサポート拠点を設置

あぶくま高原の中央に位置する田村市は、平成17年に5つの町村が合併し、誕生しました。主要観光施設であるあぶくま洞やムシムシランド、県立自然公園に指定される大滝根山、映画のロケ地となった小沢の桜などの自然資源が豊富なだけでなく、堂山王子神社本殿や安倍文殊堂などの歴史・文化的資源も点在する、見どころの多い市となっています。

社会問題となっている少子高齢化、地方の人口減少ですが、田村市も例に漏れず対応を迫られています。人口の流出抑制や移住・定住の促進が重要と考え、令和3年には、東京都に「東京リクルートセンター」、市内に「田村サポートセンター」を開設しました。両センターでは、オンラインを含むイベントの開催、市内に約60%の森林を有している田村市ならではの、1泊2日で林業を体験できるツアーの実施や、SNSやメールマガジンなどを使った情報発信を通して、首都圏における移住検討者の掘り起こしを行っています。

今後も田村市の情報発信を続けながら、市内農家の新たな販路の開拓や、農産物のブランドイメージの向上、移住後に起業を検討している方を対象とした講習会などの支援を行う予定です。併せて移住検討・希望者の不安を軽減するためのバックアップ

と、移住者を受け入れる田村市民をサポートする事業も展開し、人口減少・少子高齢化を解決するための事業を構築していきたいと考えています。

### 優秀な人材と関わり 多様な経験を積める場所

私は市長就任前、長らく会社を経営していました。その経験をふまえ田村市職員の働きぶりをみると、業務を忠実に遂行することには長けている一方、より効率的で効果的な業務にするための工夫が足りないと感じることもあります。これは決して職員的能力不足ではなく、市役所では多様な経験を積む機会が足りないのでしょうか。職員の潜在的な能力を引き出すことも私の大切な役割です。

田村市ではできない経験を積んでほしいとの思いから、現在機構に1名の職員を派遣しています。機構には全国の派遣職員に加え、総務省からの出向者や、民間の金融機関出身のスペシャリストも多いため、ここで得られる人脈は仕事の枠を超えた生涯の財産となるでしょう。派遣中の職員と面談した際、機構での担当業務についていきいきと話す姿に成長と頼もしさを感じました。帰任後は市の財政事情を的確に把握しながら、自らの判断で資金を運用・調達する能力を身につけた職員として、一層の活躍を期待しています。

#### PICK UP! TAMURA CITY

#### 磯前神社

社殿が岩山に埋め込まれたような「懸造り」という珍しい建築様式で、崖に寄り添うように建てられています。



宮崎県  
三股町  
木佐貫 辰生 町長



## 機構への職員派遣は まちづくりに向けた未来への投資

### 町民の多様な課題に対応すべく 更なる利便性の向上を目指す

三股町は、都城市に隣接する緑と水の豊かな田園都市です。教育や医療、福祉などの環境が整っており、都市部や高速道路へのアクセスも良いことから、半世紀に渡って人口が増え続けています。昨今地方では住民の高齢化や若者の流出が叫ばれていますが、三股町は15歳未満の人口率が宮崎県内で1位となっています。「子育てしやすいまち」と認知されており、若者の多い活気ある町として成長を続けています。

一方、高齢者の増加、免許返納推奨の流れから、交通・生活利便性の更なる強化が急務です。現在はコミュニティバスを運行させていますが、生活便の本数が少ないことに加え、運行経路の空白地があることから、交通網再編計画を策定しました。中心市街地内の巡回路線の拡充、中心市街地と各集落を繋ぐ路線の見直しで、町民の快適な移動手段の確保に努めます。また、町の中心にある2.2haの団地跡には、生涯学習と子育て支援、健康増進、買い物と食の機能を持つ複合施設の整備を進めています。幅広い世代が集まる活気のある拠点施設とすべく、民間企業とも連携しながら、令和9年度のオープンを目指しています。

本町も、令和3年をピークに人口減少傾向にあることから、これまでの子育て支援をさらに前進させ、人口増に繋げるため、令和

5年度からは中学生の給食費の無償化に取り組みました。保護者の教育費の負担軽減に努めるとともに、若者の移住・定住先の候補地として選択肢を提供し、地域経済の活性化を期待しています。

### 金融に明るく幅広い視点を持った 職員に成長することを期待

「まちづくりは人づくり」と言われますが、やはり町の活性化には、地方公共団体職員の育成・資質向上が必要不可欠です。他市町村からの移住者・定住者が多いため住民のニーズ・価値観も多様化しています。広い視野を身につけ、何事にも臨機応変に対応できる人材の育成は欠かせません。

現在三股町からは機構へ1名職員を派遣していますが、これは未来への投資と考えています。派遣職員には、三股町のこれからのあり方、まちづくりの視点を念頭に置いて、業務の中では全国のまちづくりの情報を蓄積し、プライベートでは大都会の有様を体感してきてほしいです。

帰任後は、機構で学んだことを活かして活躍してほしいと思っています。特に現在進めている中心市街地の再開発事業では、機構での事例を参考にしながら、魅力的な施設づくりと収支バランスの管理のできる人材としての活躍が期待されます。ほかの職員にも刺激をもたらしてくれるような、多方面での成長を楽しみにしています。

### PICK UP! MIMATA TOWN

#### 長田峡公園

約3万年前の大噴火による堆積物で形成された峡谷。空気の澄んだ美しい渓谷はリフレッシュに最適です。



# 金融の専門知識と 地方行政の課題を知ること 幅広い視野が培われます

## 派遣職員の仕事

### 貸付業務



融資部では、貸付計画の策定、貸付利率の算定、一般会計債及び公営企業債の貸付け等を行っています。また、その貸付けに対する元利償還金の回収及び債権管理を併せて行っています。

その一つである貸付業務は、地方公共団体による資本市場からの資金調達を効果的に補完する役割として、長期かつ低利の資金を融通しており、令和4年度は、1,684団体、総額1兆5,886億円の貸付けを行いました。

その中で、派遣職員は、地方公共団体からの借入申込みに基づいて、地方債の同意又は許可の有無、借入れに必要な議会の議決や予算措置等の状況について適正かどうかを審査しています。さらに、貸付後は各団体に赴き、貸付金の使途状況を調査する等、債権管理を行っています。

### 資金調達業務



JFMは、地方公共団体に対する貸付原資を主に「地方公共団体金融機構債券(以下「JFM債」という。)」の発行により資本市場から調達しています。

資金部は、債券発行・元利払い事務及び資金運用・管理事務を取り扱っており、その中で派遣職員は、JFM債発行に係る実務を担っています。JFM債発行に係る実務には、証券会社との事務的調整、投資家動向の分析、IR(投資家向け広報)の実施及び資金運用計画の策定等があり、長期かつ低利な資金を融資するため、安定的な資金調達を行うとともに調達手段の多様化に日々取り組んでいます。

### 地方支援業務



地方支援部では、地方公共団体のニーズに合わせて、財政の健全性の確保や資金調達をはじめ地方公共団体の財政運営全般にわたって必要な支援を実施する「地方支援業務」を展開しています。

派遣職員は、主に、個別の市区町村等にアドバイザーを派遣する事業や地方財政等に関するセミナー・研修の企画、実施等に係る業務とともに、財政運営において参考となる財政分析チャート、先進事例、経済・金融指標データ等を発信する業務に携わります。

資金調達に関する出前講座や実務支援の実施にあたっては、金融の専門知識を有する自治体ファイナンス・アドバイザーと協力して、日々取り組んでいます。

## 概要

- ▷ 公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律とその関係条例に基づく職員の派遣です。
- ▷ 派遣期間は、おおむね2年です。
- ▷ 派遣職員の給与については、派遣元団体で支給されている給与を踏まえて格付けの上、機構において支給します。
- ▷ 派遣職員の住居については、機構において職員宿舎を準備します(東急田園都市線「二子玉川駅」、「たまプラーザ駅」付近)。
- ▷ 派遣期間における長期給付、短期給付及び介護保険に係る事業主負担分については、機構において負担します。



## これまでの経験も活かせる 適任のステージで 信頼される存在に

融資部 融資管理課  
安部 有紗

島根県  
奥出雲町  
から派遣



島根県奥出雲町では財政課に所属していましたので、JFMの存在は以前から知っていました。人事担当課から出向を推薦していただき、東京都で働けることに胸が躍りましたが、生活面や業務面において不安があったのも事実です。しかし、いざ来てみると職員に向けた手厚い研修があったり、職員住宅に完備されたサテライトオフィスでも業務ができたりと環境面の充実がすぐに不安を解消してくれました。

現在は融資部に所属しています。これまで奥出雲町では借入れに携わる立場であったのに対し、JFMでは貸付けを管理する立場となりました。真逆の立場になったことで、地方公共団体の方々とお話する際に、今までの経験から相手が何を伝えたいのかがわかり円滑にコミュニケーションがとれています。

また、私は「地方財務状況調査」という、JFMの職員が貸付先の地方公共団体を訪問し、貸付金が正しく使われているか調査を行う業務の統括も担当しています。調査を行う団体の選定や日程調整等は大変でしたが、実際に現地で機構資金を活用した事業の説明を受けると、融資部の業務がそれぞれの団体のために役立っていることを実感でき、やりがいを感じました。

JFMには地方からの派遣職員や総務省職員も在籍していて、出向は新たな人脈を築くチャンスです。派遣元に戻ってから何か困った時に、違う地方公共団体に相談できる人がいるというのは、とても心強いと思います。出向は少し勇気のいることかもしれませんが、私は正しい選択であったと断言できます。

### One Day Schedule

09:00 出社

メールチェック

10:00 管理業務

地方公共団体からの問い合わせ対応  
(書類確認等)

13:00 研修

地方財政や金融に関する研修(勉強会)への参加

15:00 資料作成等

融資部が管轄する地方財務状況調査  
に向けた資料作成、課内会議

17:45 終業・退社



## 投資家とJFMをつなぐため 成長するに至った 意識の変化

資金部 資金課兼  
資金管理課  
奥田 香菜

香川県  
から派遣



幅広い価値観を身につけるために、別の環境でチャレンジしてみたいと考え、JFMへの出向を決めました。派遣元である香川県庁では、県産品をPRする業務や、県立大学の職員としての業務に携わっていましたので、金融に関する知識はありませんでした。その点、JFMは研修制度が充実しているので安心です。私が特に参考になったのは、金融機関向けの職員育成を目的とした研修です。JFMの職員が経験則に基づいて自由なテーマで話をするので、楽しみながら学ぶことができました。

JFMでは資金部に所属し、投資家向けのIR※を行っています。主な目的はJFM債を購入していただくために、投資家に対し、JFMの概要や資金調達計画などの投資に必要な情報提供を行うことです。出向初年度から本業務に携わることになりましたが、上司や同僚、証券会社の方々の助けもありながら、今では説明を任せられるようになりました。IRによって、JFMやJFM債をご存じなかった投資家が、JFMへの理解・信頼を深め、新規購入や定期的な購入に結び付くと、モチベーションがさらに向上します。最近では個人的に関連書籍でも勉強しており、多様な面において成長しながら充実した時間を過ごせています。

新たなステージに挑戦したことで、今とてもフレッシュな気持ちで働いています。また、JFMではさまざまな地方公共団体から派遣された職員が、仕事のために自発的に勉強する風土があります。私自身も日々の自己研鑽が当たり前の感覚になりました。香川県庁に戻ってからもこの姿勢を継続し、周囲に良い影響を与えられれば嬉しいです。

### One Day Schedule

09:00 出社

メールチェック

10:00 市況聞き取り

債券発行にあたり、証券会社・金融機関から市場状況についての説明を受ける

13:00 債券発行

債券発行に向けた書類作成

15:30 IR実施

希望があった投資家を上司とともに訪問し、JFMやJFM債について説明

17:45 終業・退社



## セミナー開催に向けた プロセスから得られる 多様な充実感

地方支援部  
調査企画課兼  
ファイナンス支援課  
川原田 隼也

三重県  
津市  
から派遣



全国の地方公共団体の健全な財政運営の実現に向けた業務に携わり、貴重な経験や知識を得たいと考え、出向を希望しました。現在、財政・金融について学ぶだけではなく、JFMでは地方公共団体が直面している課題に対して、さまざまな機関と連携し多くの施策を提供しており、その施策を通じ、自治体の行財政運営についても学ぶことができ、とても充実しています。

私の担当業務は、地方公共団体の財政運営に対する実務的な課題解決のサポートです。個人的には地方財政セミナー・地方公営企業セミナーの企画、運営に携わっており、テーマや開催地、講師の選任、プログラムの作成などを行っています。単純に前例を踏襲するのではなく、毎年度、全国の自治体の状況変化や制度改正の内容などを勘案し、自治体が求めるテーマを見極め、より良いプロジェクトをつくり上げていくのが魅力です。自分のアイデアが反映された企画が形になると、ある種の達成感が味わえます。もちろん苦労もありますが、セミナーに参加した方々に喜んでもらえて、アンケートに感謝の言葉が綴っていると、当然講師の方々のおかげですが、企画して良かった、喜んでもらえて良かったと感じます。やりがい、達成感を感じる瞬間です。令和6年度のセミナーでは新たな取組として、会場に来ることができない方々もWebから参加できるようにする予定です。あらゆる地域の方々に情報を提供することで、少しでも課題解決の支援につながればと思います。

津市への帰任後もJFMで得た人とのつながり、知識や経験を活かして、プロジェクトの中心を担っていく導き手のような存在になりたいです。

### One Day Schedule

09:00 出社

メールチェック

10:00 資料作成

セミナーの講義テーマについて先進事例を調査

13:00 研修

地方財政や金融に関する研修に参加

15:30 打ち合わせ

開催予定のセミナーの研修担当者と講義テーマについて打ち合わせ

17:45 終業・退社

派遣元に戻ったJFM職員の「いま」を紹介します。

## OB/OG MESSAGE



大阪府 堺市 財政局財政部 資金課  
宇野 順一郎

2021年～2023年 堺市から派遣  
資金部 資金課にて勤務

### JFMで得た知識と経験、人脈が 今の業務の原動力です。

JFMでは資金課で主に国内債の発行業務とIR活動に携わりました。着任当初は専門用語が職場を飛び交い戸惑うばかりでしたが、同僚や上司、証券会社の方々などに手厚くサポートしていただいたことで、理解を深めることができました。帰任後は資金課に配属され、市場公募債の発行と債券運用を担当しています。JFMでの業務に直結する部分が多く、2年間で培った知識と経験、証券会社の方々との人脈を存分に活かすことができています。JFMでのIR活動で全国各地の地方公共団体のほか、さまざまな業態の投資家様を訪問し、多種多様な運用手法や資金運用における課題や悩み等、現場の生の声を聞くことができましたので、堺市の債券運用計画の策定、本格的な運用再開に際して大いに役立ちました。JFMで過ごした2年間は、私にとって大きな財産であり、現在の業務に対する原動力となっています。

### 現在の上司からのメッセージ

宇野さんは、地方債発行や債券運用等の業務に従事し、JFMで培った知識や経験、人脈を存分に活かしながら証券会社との協議調整を行うなど、堺市に帰任してからも組織の中核として働いてくれています。今後の業務においても、その高い専門性を最大限に発揮しながら、円滑な資金調達・管理を実現するための貴重な人材として、活躍してほしいと願っています。



資金課長 上田 智仁



福島県 田村市 総務部 財政課  
渡邊 拓也

2021年～2023年 田村市から派遣  
融資部 融資課にて勤務

### 財政に関する知識と築いた人間関係は 私にとって一生の財産です。

JFMでは融資課に在籍し、主に融資審査事務を担当しました。財政を経験してこなかったため、着任当初は不安がありましたが、職員研修や周囲のサポートにより、必要な知識を学び、円滑に業務を進めることができました。また、全国の地方公共団体や総務省から職員が派遣されているため、さまざまな方々と交流できたことも貴重な経験となりました。帰任後は、財政課で起債事務を担当しております。JFMで得た知識や経験を存分に活かすことができているし、悩みがあれば同じ派遣期間を過ごした仲間に相談するなど、関係性は現在でも続いています。JFMへの派遣は、地方債の知識が得られることはもちろんですが、総務省や全国の地方公共団体から派遣されている方々となつなかりがくれるのも魅力です。私にとってJFMでの2年間は一生の財産となりました。出向を考えている皆様も前向きに検討してみてもいいのではないでしょうか。

### 現在の上司からのメッセージ

渡邊さんはJFMへの出向経験を活かし、現在は財政課において基金・起債管理を担っています。田村市は、平成の大合併により合併特例事業債などを活用し、起債管理の事務量が多い状況ですが、持ち前の積極性とJFMで培った経験を活かし即戦力として活躍しています。また、後輩への指導を熱心に行うなど職員育成にも尽力しており、市の将来を担う中枢職員として今後のさらなる飛躍・活躍を期待しています。



財政課長 吉田 尚治

# 成長をサポートする制度と働きやすい環境

## 充実した研修制度

JFMでは、派遣された職員が地方財政や金融等に関する知識・経験を有する職員として成長し、地方公共団体の経営に一層役立つ有益な人材となるように充実した研修制度をご用意しております。JFMで勤務した経験が将来にわたる財産となり、地方の人材育成に貢献できるよう努めています。

研修制度一例

### 地方財政と金融に関する職員研修

地方財政制度研修／金融基礎研修／自治体の財政分析 等

年間10回

### 資格取得やスキルアップのための経費支援

簿記2級以上／英検2級以上／TOEIC対策講座／銀行業務／証券アナリスト 等

### 宿泊型研修

資金調達等に係る金融知識の習得を目指す短期集中研修

在年中1回

各種研修の概要・テキスト等は、JFMのホームページからご覧いただけます。

<https://www.jfm.go.jp/support/development/training/index.html>



## 職員住宅を完備

東急田園都市線二子玉川駅、たまプラーザ駅付近に住宅(単身用・世帯用)を完備しています。

二子玉川住宅



東急田園都市線「二子玉川駅」から徒歩12分

青葉住宅



東急田園都市線「たまプラーザ駅」から徒歩6分



公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所 提供



### 交通案内

- 都営地下鉄三田線「内幸町」下車(A7)徒歩2分
- 東京メトロ丸ノ内線「霞ヶ関」下車(B2)徒歩4分
- 東京メトロ千代田線「霞ヶ関」下車(C3)徒歩3分
- 東京メトロ千代田線「日比谷」下車(A14)徒歩3分
- JR線「新橋」下車徒歩8分、または「有楽町」下車徒歩12分

### お問い合わせ先

この派遣は、地方三団体(全国知事会、全国市長会、全国町村会)の斡旋により実施しておりますので、お問い合わせにつきましては、各事務局又は地方公共団体金融機構経営企画部秘書役室へお願いいたします。

地方公共団体金融機構経営企画部

秘書役室 TEL 03-3539-2629 企画課 TEL 03-3539-2674

ホームページにて、  
「職員派遣ご案内」の動画公開中。 →  
パンフレットと併せてご覧ください。



金融で地方財政を支え 地域の未来を拓く



地方公共団体金融機構  
Japan Finance Organization for Municipalities

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1番3号 市政会館  
地方公共団体金融機構ホームページ <https://www.jfm.go.jp/>